

研究情報公示用ポスター

「歯周炎の病態解明に向けた網羅的遺伝子解析」へご協力いただく方へ

東京科学大学病院（歯系部門）歯周病外来では下記の臨床研究を予定しております。

（１）研究の概要について

研究題名：歯周炎の病態解明に向けた網羅的遺伝子解析

承認番号：D2018-051

研究期間：歯学系倫理審査委員会承認後～2027年3月31日

研究責任者：東京科学大学 大学院医歯学総合研究科 歯周病学分野 岩田 隆紀

共同研究機関：Abant İzzet Baysal University（責任者：助教 Şadiye coşkuner）

bitBiome 株式会社（責任者：取締役 CSO 細川正人）

業務委託機関：ジェネシスヘルスケア株式会社（責任者：代表取締役 デビット・バラ
ン、委託内容：ライブラリー作成からシーケンスまでを含めたゲノム
解析）

本研究は、東京科学大学歯学系倫理審査委員会の承認及び機関長の許可を得ております。

（２）研究の意義・目的について

歯周病とは：

成人が歯を失う主な原因である歯周病は、歯周病原細菌によって歯の周囲組織が炎症を起こし、歯を支えている骨が溶ける病気です。しかし歯周病原細菌が同程度ある人でも歯周病が大きく進んでいる人、歯周病が進みにくい人がいることから、歯を支えている骨や歯の周りにある組織においては、個々人の細菌に対する宿主応答の違いが深く関わっていると考えられてきました。

中でも、侵襲性歯周炎は比較的若い時から大きく進行するものですが、その発症機序には不明な点が多くあります。現在、特定の家系内において高い頻度で認められることから、遺伝的要因が大きく関与している可能性が考えられていますが、確定的なメカニズムはいまだに明らかとなっていません。

本研究の目的は、侵襲性歯周炎の原因となっている遺伝子を探索することです。遺伝子研究によって、歯周病の原因となっている遺伝子が特定できたり、個人の体質を知ったりすることができれば、どのような治療を行うのが最も適しているか、少しでも発症を遅らせるにはどのようにすればいいのかを理論的に選択することができる可能性が高くなります。

本研究の成果によって、歯周病患者さんの健康に寄与し、多くの人たちが恩恵を受けられるよう期待しています。調査法についてお読みいただき、参加するかどうかを決めて下さい。本同意はあなたの希望により、たとえ調査の途中であってもいつでもこれを取り消すことができます。また、わかりにくい点や疑問点がありましたら、いつでも遠慮なく担当医に申し出て下さい。

（３）研究の方法について

本研究では、バイオバンクに保管されている血液を用いて研究を行います。対象となる疾患

は慢性歯周炎および侵襲性歯周炎の患者さんです。年齢や性別は問いません。

DNA の解析：

当外来で東京医科歯科大学バイオバンク事業に同意をいただいた方が対象となります。本研究では血液を通常の方法で約 10ml 採血し、血液細胞および細胞内に含まれる DNA を取り出します。疾患バイオリソースセンターにて保管した後、解析を行う体制が整った際に、試料活用委員会の承認を得た上で解析を行います。DNA から遺伝子配列を解読する解析は、ジェネシスヘルスケア株式会社に業務委託して行います。慢性歯周炎・侵襲性歯周炎に関係する遺伝子は、現在明らかではありません。そこで、関係する可能性のある遺伝子や未知の遺伝子を調べることになります。そして、慢性歯周炎・侵襲性歯周炎の発症に関係のある遺伝子が見つかった場合には、その遺伝子をさらに詳しく調べていきます。

本研究では、歯周病に関する遺伝的素因を明らかにする研究に用いるため、貴方の臨床情報及び遺伝情報を Abant Izzet Baysal University（トルコ）に提供します。トルコにおける個人情報の保護に関する制度の情報については、以下をご参照下さい。

※トルコ共和国：https://www.ppc.go.jp/files/pdf/turkey_report.pdf

（４）試料等の保管と、他の研究への利用について

疾患バイオリソースセンターにて管理・保管されている試料（血液）を試料活用委員会の承認を得た上で使用させていただきます。研究終了後の試料は廃棄します。研究により得られたデータは本学規定に基づき東京医科歯科大学大学院歯周病学分野にて 10 年間保存致します。

（５）予測される結果（利益・不利益）について

本遺伝子解析研究の結果がすぐに、提供して頂いたあなたの治療に直接役立つ可能性は非常に低いと考えられます。しかし、研究の成果は今後の歯科医学の発展に寄与するものと考えられます。その結果、将来、効果的な治療薬が開発されたり、早い時期に診断できるようになったりすることなどが期待されます。

（６）研究協力の任意性と撤回の自由について

この研究に協力されるかは、患者さんの自由意思で決めることができます。本学バイオバンク事業に同意をいただき、血液をご提供いただいた方で本研究での使用を希望されないときは担当医に申し出てください。一旦同意された場合でも、いつでも研究への協力を撤回することができます。協力を撤回した場合でも、患者さんが何らかの不利益を受けたりすることは一切ありません。

（７）個人情報の保護について

疾患バイオリソースセンターで保管されている個人が特定できないような形式で匿名化された血液を使用致します。そのため、本研究では研究者が患者さんの個人情報に直接触れることはありません。

（８）研究成果の公表について

本研究によって得られた成果は学会にて発表もしくは論文として学術誌に掲載させてい

たきます。その際には患者さんを特定できる情報は一切含まれません。

(9) 費用について

行われる遺伝子解析研究に必要な費用をあなたが負担することはありません。また、交通費や謝礼金などの支給は行いません。

(10) この研究の資金について

本研究は日本学術振興会科学研究費補助金と統合教育機構教学 IR 部門ならびに教育メディア開発学分野運営費を用いて行われます。本研究を実施するにあたり特定企業との利害関係はありません。本研究の実施にあたっては、本学利益相反マネジメント委員会に対して研究者の利益相反状況に関する申告を行い、同委員会による確認を受けています。利益相反とは、研究者が企業など、自分の所属する機関以外から研究資金等を提供してもらうことによって、研究結果が特定の企業にとって都合のよいものになっているのではないか・研究結果の公表が公正に行われないのではないかなどの疑問が第三者から見て生じかねない状態のことを指します。

(11) 問い合わせ先

研究者連絡先：東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 歯周病学分野
主任教授 岩田隆紀
東京科学大学 統合教育機構
特任講師 須藤毅頭
〒113-8549 東京都文京区湯島 1-5-45
電話：03-5803-5488 (ダイヤルイン)

苦情窓口：東京科学大学研究推進部 研究基盤推進課 生命倫理グループ
03-5803-4547 (対応可能時間帯：平日 9:00～17:00)